

会 議 録

1 会議名

第7回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

- (1) 協議事項(公開)
- (2) 会長報告(公開)
- (3) 部会報告(公開)
- (4) 市からの報告(公開)
- (5) その他(公開)

3 開催日時

平成27年9月30日(水)午後6時30分から午後7時06分まで

4 開催場所

柿崎地区公民館 川西分館

5 傍聴人の数

37人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く。) 氏名(敬称略)

- ・ 委 員：薄波清美、金子正一、神岡八江子、小池猛紀、小出優子、小関茂夫、小山貞榮、佐藤 健、白井一夫、曾田良治、長井泰雄、長井洋一、宮澤安雄、吉村登、渡邊征雄
- ・ 事務局：早川寿男柿崎区総合事務所長、横田一次長、永春勲参事、大場正弘総務・地域振興グループ長、大橋靖夫産業グループ長、嶋田祐司建設グループ長、中村稔市民生活・福祉グループ長、小林仁総務・地域振興グループ班長、唐澤幸代総務・地域振興グループ班長、杉田悠輔総務・地域振興グループ主事、田鹿成美総務・地域振興グループ主事、小田一輝総務・地域振興グループ主事(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容(要旨)

【大場G長】

- ・会議(地域協議会及び地域振興懇談会)の開会を宣言

【早川所長】

- ・挨拶及び会議の開催趣旨の説明

【大場G長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【佐藤会長】

- ・会議録の確認：小関委員に依頼
- ・次第(1)会長あいさつ及び地域協議会の説明、資料1「柿崎区地域協議会の活動について」により説明
- ・次第(2)協議事項、「地域活動支援事業にかかる課題について」、総務・地域振興部会の小出委員に説明を求める。

【小出委員】

総務・地域振興部会では、9月15日、25日に部会を開催し、地域活動支援事業にかかる課題について協議した。全市的な課題と、柿崎区のみ課題があるが、ここでは全市的な課題のみ報告させていただく。柿崎区の個別の事案については、後ほど部会報告で報告する。

- ・資料2「地域活動支援事業にかかる地域協議会からの意見・課題」により説明

【佐藤会長】

只今、総務・地域振興部会の部会長から説明があった。このことについて、自治・地域振興課へ報告をしたいと思うが、いかがか。

(委員から「異議なし」の声)

【佐藤会長】

それでは、報告させていただく。

続いて、地域活動フォーラム開催にかかる事例発表候補者の推薦について、こちらも総務・地域振興部会において検討することになっている。小出委員から説明していただく。

【小出委員】

平成27年12月13日(日)に開催される、地域活動フォーラムの事例発表候補者を検討

した。昨年に引き続き 16 ピースを候補者として提案したい。推薦書を作成したのでご覧いただきたい。

・資料 3 「H27 地域活動フォーラム事例発表候補者推薦書」により説明

なお、今回推薦させていただく 16 ピースさんには、事前に内諾をいただいている。

【佐藤会長】

今までも、16 ピースさんを地域活動フォーラム事例発表者に推薦させていただいたが、選ばれなかった。今回は発表していただけるように、地域協議会としても推薦したいと考えている。今の報告について、自治・地域振興課へ報告をしたいと思うが、いかがか。

(委員から「はい」の声)

【佐藤会長】

それでは、推薦させていただく。

続いて次第(3)会長報告に入る。平成 27 年度の委員視察研修について報告させていただく。今年度は 10 月 28 日(水)に長岡市山古志地区を視察したいと考えている。中越地震が発生して 11 年が経つ。山古志集落の皆さんが、相当の苦労をされて復興されたということで、その状況を視察したいと考えている。

また、視察研修終了後には地域協議会の開催を考えているが、委員の皆様から何か意見や質問はあるか。

意見や質問が無いようなので、今回の視察研修は長岡市の山古志の復興状況の視察とする。

続いて(4)部会報告に入る。総務・地域振興部会、産業振興部会、教育・福祉部会の順で、活動について各部会長に報告していただく。

【小出委員】

総務・地域振興部会から報告する。先ほども説明したが、9 月 15 日、25 日に部会を開催した。まず、柿崎区における地域活動支援事業の課題として、提案が少ないことから、

「町内会単独の提案を認めるべきではないか」という意見が出された。これに対し、「町内会単位でなく地域単位で提案した方が、地域活動事業の目的に馴染むのではないか」

「単独町内会を認めるのであれば、ハード事業は対象としないなど制限を付すべき」といった意見があったが、結論に至っていない。柿崎区の採択基準等の見直しについては、他の課題もあるので、今後も継続して検討していきたいと思う。

また、地域協議会の一層の活性化に向けた取り組みについてということでは、若者や女性をはじめとする、新しい人材を掘り起こすにはどうしたらよいかという意見や、女性が地域を活性化させる活動に取組みやすくなるような環境づくりに、企業や事務所の方から協力が得られるよう働きかけるという意見が出された。こちらについても、今後協議していきたいと考えている。以上で、総務・地域振興部会の報告を終わる。

【金子委員】

産業振興部会では、これまでまちづくり振興会など、個別の団体と意見交換を行っていたが、9月3日(木)に、柿崎区のまちづくり団体や地域の団体が一堂に会した中で、自主的審議事項に取り上げる案件がないか模索するとともに、各団体が課題や方向性を共有し、各団体同士の連携を深め、これからの柿崎区のまちづくり活動に生かしていただきたいという趣旨で意見交換会を開催した。参加を呼び掛けた団体は、柿崎いちもく会、16ピース、柿崎を食べる会、柿崎商工会、柿崎観光協会、柿崎まちづくり振興会である。各団体の活動と、抱えている課題をお聞きした。

主なものとして、「若い世代の会員がなかなか集まらない」というのが各団体共通の課題であった。まちづくり振興会からは「行事、イベントをそれぞれの団体が単独で行い、横のつながりが足りないように感じる」という意見が出た。柿崎観光協会からは、「今後の運営について課題が山積している、特に資金面で苦しい」という状況が報告された。柿崎を食べる会からは「柿崎の特産品作りということで、現在は干し柿を生産しているが、一つの団体がやろうと思っても限界があり、団体同士が連携して特産品の開発に取り組むべき」という意見が出された。

また、今後の意見交換会のあり方についても皆さんから意見を頂いた。「各団体の横のつながりのコーディネーター役は行政ではなく地域協議会がやるべき」という意見、「地域協議会として課題を掘り下げ、もっと前に出てほしい」という意見もあった。このような意見や課題を再度部会で検討して、ひとつでも目に見える形になるように努力していきたいと思う。

【長井(洋)委員】

教育・福祉部会では、9月2日(水)に「公の施設の再配置計画にかかる柿崎体育館の今後について」ということで勉強会を開催した。公の施設の再配置計画の今後の取組方向には、「近隣に同様の機能を有する施設があることから、補助金の処分要件等を精査し、

今後の対応を検討する」と記載されている。総合事務所からは、柿崎体育館ができた経緯をはじめ、施設カテゴリーとしては「体育館」に属しているが、地域の集会施設としても利用されていること、また、正直地区の方々が一生懸命体育館周りの整備をしていることをお聞きした。

部会では、柿崎体育館の利用状況を詳しく調べ、利用者に意見を聴く機会も必要であるという意見が出された。まだ勉強会の段階なので、今後も総合事務所からの情報をもとに勉強会を開催したい。

【佐藤会長】

今後の各部会の取組みについては、諸団体との横のつながりが一番重要ではないかと思う。皆さんと共に、共有できるものはどういうものかを検討していかなければならない。地域協議会として、自主的審議できるものとできないものがあるので、テーマを決めて活動していただきたい。

続いて、(5)市からの報告に入る。「諮問第 78 号に対する市からの回答について」事務局から説明していただく。

【大場 G 長】

- ・資料 5「新市建設計画の変更について(通知)」により説明

【佐藤会長】

続いて、「原子力防災訓練の実施について」事務局から説明していただく。

【大場 G 長】

原子力災害に備えた屋内退避・避難計画策定に伴い、屋内退避の実施や情報伝達などの対応の検証、市民の皆様への周知・啓発を目的に、11月1日(日)午後1時から2時までの1時間、原子力防災訓練を実施する。防災訓練の詳細については、原子力災害に備えた屋内退避・避難計画の内容とつながっているので、この後の地域振興懇談会において説明したい。

【佐藤会長】

続いて、「施設使用料に係る新たな減免制度の実施時期の変更について」事務局から説明していただく。

【横田次長】

本日の朝刊でも取り上げられていたように、当初の予定では、10月からの施設使用料の改定と合わせ、新たな減免制度を実施することとして説明してきた。多くの施設使用

団体の皆さんからのご要望で、来年の3月末までは現行の減免制度を継続することとし、新たな減免制度は来年4月からの実施を予定している。この間の状況をご説明すると、今年の3月から5月にかけて、各地域協議会や町内会長連絡協議会において、見直しの基本方針について説明させていただき、その後7月には施設を利用されている団体等を対象に市の考え方や具体的な減免の対象者、減免率等について見直しの素案をたたき台としてお示ししながら、ご意見をお聴きする意見交換会を各区の会場など、全16回開催した。現在、市ではこの意見交換会でお聴きしたご意見ご要望を始め、青少年育成やスポーツ振興に関する考え方等の観点から、改めて見直し案の取りまとめ作業を進めている。見直し案が固まり次第、再度、施設利用団体を対象とした説明会を行うとともに、地域協議会の皆さんに説明させていただきたいと考えている。

【佐藤会長】

只今、市から、原子力防災訓練の実施等について報告があったが、この後開催する地域の皆様との意見交換会の中で詳しく説明していただく。市からの報告の3点について、何か意見や質問はあるか。

意見や質問が無いようなので、次第(6)その他に入る。

次回の日程の確認をする。

- ・第8回地域協議会：10月28日(水) 午後6時30分から
- ・会議の閉会を宣言
(午後7時06分 閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-536-6710（直通）

E-mail：kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。